

マイサークル

婦人会 社交ダンス愛好会

185

～踊っていきいき～

●日時／毎月第1・第2・第3月曜日 13:00～15:00
●場所／中央公民館



心身ともに健康で「いつまでも自立できるように」をモットーに発会したこの会も、結成30周年を迎えようとしています。

いつも社交ダンス愛好会の男性の皆さんのご協力を得ながら、毎月3回、中央公民館でレッスンしています。毎回リズムに乗って楽しく技を磨いては、会員同士の親睦を深めるなど、楽しいひとときを過ごしています。

皆様のご理解とご協力を得て、会員の皆さんは人並み以上に足腰が丈夫で、ほとんど欠席がありません。心豊かで明るい方々ばかりです。

一度練習風景をぜひ見にいらしてください。お待ちしております。

☎田口 ☎25-7381

市民文芸

応募方法
一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき1枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。
Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

春の風そよそよ吹きて桜散る虫たち起きてうじゃうじゃ元氣 小原中二年 四竈 久彦
ギリギリでいつも生きてる人生を僕は大事に守って行こう 小原中二年 半澤 拓真
ツバメたち小原の学校気に入っているも小原をはばたいている 小原中二年 高橋 史
青い空燕が鳴いて果立ってどこに行くかと燕とかけっこ 小原中二年 小室 浩貴
春の空自由に飛びてなを思っ小さきツバメ輪を描いている 小原中二年 半澤 崇拓
山藤の蔓伸びゆきて杉群の梢の先に花房を垂る 平間 久子

ただいまと仏壇の前亡き夫のえまう写真にいさつをする 鎌田ねい子
名を呼べば羽根を伸ばしてオカメインコ十三歳が吾に寄るなり 寺崎 悦子
タラの木へ御礼ごやしを施して次はワラビの下刈りをなす 斎藤タカ子
函館の夜景はかなる海峡に鳥賊釣りの舟の灯りがゆれる 阿部はぎの

【評】前月に続く小原中二年生のみなさんの作品。一首目「桜散る」と「うじゃうじゃ元氣」とのユニークなとり合わせで、春の喜びを詠う。二首目は、思い入れのある上の句が眩しい。焦らずに、そして、三・四・五首目、いずれも歌材を燕にとり、各々が個性的に明るく自分をかかわらせている。

俳壇

遠藤 秋尾 選

豪快な男の料理ビール飲む 山家 弘子
老鶯の巧みな声に聞きほれる 岩松 隆志
萬緑を抜けトンネルを抜けてバス 山下 文
城山の径を紫陽灯淡く染め 福原 峯子
清流に鮎釣りの糸透けて見ゆ 制野 リエ
不揃の玉葱あつめ竿にほす 川村 静恵

柳壇

米澤 礼子 選

学生が狸が寝るシルバースhirt 水戸 光穂
コマリシャル育毛剤はすぐ生える 大庭 良子
おふくろの味が帰省を待っている 大野 一生
挨拶が長いと叱る喉仏 高橋 要一
ネクタイの出番が欲しいクールビズ 高子うこん
黄泉のくに往復切符があったなら 阿部はぎの
ひたむきに生きてきたから今がある 阿部みさ子
ウオーキング糖尿病を吹っ飛ばせ 佐藤 尚志
シベリアで粗食食わされ今元氣 梶川善五郎
ボランティアお互いの積み重ね 斎藤 典子

【評】一句目、シルバースhirtに先客が見れば狸によく似た学生が時々薄目を開けている。この席を何と心得る。思いやりの心はなく、自己中心の人間。あつ現世の「コマカ」。二句目、育毛剤のコマリシャル、その即効力に実験者は語る。ふさふさした黒髪に心も若返り、生活に張りが出たと。私の心も揺れる。三句目、しばらくおふくろの味が忘れられない。キャラブキやワラビなどの山菜が冷凍庫の中で待っている。思い出せばつばが出てくる。

市内イベント掲示板 (9月1日～10月5日) (※=花火打ち上げ)

開催日	時間	イベント名	場所	有・無料	問い合わせ先	備考
8月29日(火)～10月16日(月)	9:00～17:00	勝部領樹コレクション展PART1	弥治郎こけし村	入村無料	弥治郎こけし村 ☎26-3993	15頁掲載
9月3日(日)	9:00～	第48回白石市民水泳大会 第37回白石市総合体育大会水泳記録会	スパッシュランドしろいし	見学無料	スパッシュランドしろいし ☎29-2326	
9月12日(火)	9:30～11:30	短期リサイクル教室(全5回) 「ネクタイ・端切れから ティッシュボックスカバーを作ろう」 9月26日、10月10日・24日、 11月7日も開催	いきいきプラザ	参加無料 ※材料持参、 申し込み必要	いきいきプラザ ☎22-1635	16頁掲載
9月16日(土)	10:00～11:30	定期リサイクル教室 「ペットボトルから風車を作ろう」	いきいきプラザ	参加無料 ※材料持参、 申し込み必要	いきいきプラザ ☎22-1635	16頁掲載
9月16日(土)	18:30～	森麻季のタベ(ソプラノ) ※開場18:00～	ホワイトキューブ	全席指定 前売券3,500円 当日券4,000円 学生半額	ホワイトキューブ ☎22-1290	
9月16日(土)	14:00～	第20回みやぎ蔵王高原マラソン大会 記念・浅井えり子のスポーツ講演会	中央公民館 大ホール	入場無料	社会教育課 ☎22-1343	27頁掲載
9月17日(日)	8:30～	姉妹都市国際親善水泳大会	スパッシュランドしろいし	見学無料	生涯学習課 ☎29-1327	
9月17日(日)	9:15～(10:00スタート)	第20回みやぎ蔵王高原マラソン大会 ※参加申し込みは締め切りしました。	南蔵王野営場	見学無料	社会教育課 ☎22-1343	
9月17日(日)	10:00～15:00	子ども茶会	碧水園	お茶券400円 (中学生以下無料)	碧水園 ☎25-7949	16頁掲載
9月23日(土)	8:30～12:00	いきいきプラザフリーマーケット	いきいきプラザ	入場無料 ※出店希望者連絡必要	いきいきプラザ ☎22-1635	16頁掲載

国際コーナー

International Corner

「プレス・ユー」

ある日、職場の机の上においしそうなピンクのもちがありました。「これはだれからのおみやげ？」と聞いたら、「二階の〇〇さんから」という答えが返ってきました。「〇〇さんはどこに行ったの？どのおみやげ？」と、またリサは質問しました。「日本の男性は42歳になると、厄を払うようにと職場の人や友達に紅白のもちを配るのよ。」「ええ？(@_@)！」この説明を聞いて、日本の文化は本当に不思議だと思いました。面白く、おいしく42歳のピンクの厄払いもちを食べました。

今月はそれと同じように、皆さんが不思議に思うようなオーストラリアのオマジナイを一つ紹介しましょう。日本に来て初めて、花粉のおかげで静かな部屋の中でくしゃみをしました。1回だけでなく、2回、3回と。周りにいた人は顔を上げずに、何も言いませんでした。不思議だ。ちょっと失礼ではないのかな？なぜならオーストラリアやヨーロッパ、アメリカでは、昔からくしゃみをしたとき必ず「プレス・ユー」の一言を周囲の人にもらうからです。

「プレス・ユー」とは「あなたは…神から祝福される、恩恵を受ける、悪魔から守られる」という意味で、誰かがくしゃみをすると、必ず周りの人に「プレス」されます。時々自分でも「プレス・ミー」と言います。でも、なぜ「プレス」されるのでしょうか？

ある説では、歴史的な理由に基づいたものといわれています。時は中世ヨーロッパ。ベストの大流行で多くの人が亡くな

り、免れた人々はくしゃみをする人が病にかかっていると信じて、哀れみの気持ちからその人に「プレス」と言ったそうです。このほか、くしゃみをする心臓がびくりに止まってしまうからだという説もあります。人々はくしゃみをするたびに心臓がまだちゃんと動いているかどうかを確かめ、感謝の気持ちで神を「プレス」します。

さて、諸説ありますが、最も有名なのは、悪魔を追い払うという意味の「プレス・ユー」。大きく口を開けてくしゃみをする間に、悪魔が口の中へ入り込まないように、周りの人は「プレス・ユー」と言います。日本では、くしゃみをする「だれかがあなたのことをうわさしているよ」と言いますが、今度外国に旅行して、あなたの前でくしゃみをする人がいたら、「プレス・ユー」と声を掛けてみてください。その人は必ず「サンキュー」と感謝してくれるはずですよ。

私たちは、何百年も昔から言い伝えを大切にしてきました。文化は日常生活にも関わっています。私たちはその文化の中で育ち、当然の考え方であると思うときもあります。ほかの国の人「どうして、何で？」と聞くまで、気がつかないこともありますよね？どの国の文化もいろいろな信仰や迷信があるので、外国の人に出会ったり、外国に旅行したときは、その面白いことを話して、笑いながら楽しく、そして仲良く世界中に友達をつくるのもいいですね(´o`)！